

縄文時代の食料貯蔵庫

南方前池遺跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	みなみがたまえいけいせき
所在地	赤磐市南方
指定年月日	昭和32年5月13日
解説	ため池の底にある縄文時代から弥生時代の遺跡。縄文時代晩期の、木の実を貯蔵した径1mの穴が10基発見されている。発見された木の実は、イチイガシやトチの実が多く、これらを穴に入れたのち、木の葉や枝、木の皮や編み物を厚くかぶせて蓋をした状態であった。谷あいでは、木の実を水に漬けて虫を防ぎ、また、シブを抜くことがなされていたとみられる。当時の食料保存技術を示す資料である。
アクセス方法	JR瀬戸駅から約5km
公開状況	自由
設備	
備考	出土品は、赤磐市山陽郷土資料館に展示されている。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	南方前池遺跡
よみかた	みなみがたまえいけいせき
しよざいち (所在地)	赤磐市南方
していたひ (指定した日)	昭和32年5月13日
せつめい	縄文時代(じょうもんじだい)から弥生時代(やよいじだい)にかけての遺跡(いせき)です。今では、ため池(いけ)の底(そこ)にあります。深(ふか)さが1メートルある穴(あな)が発見(はっけん)され、その中からカンやトチの実(み)のドングリがたくさん出てきました。縄文時代の食料貯蔵庫(しょくりょうちょぞうこ)と考(かんが)えられます。